



親子で取り組むネットセーフティ

自律に向けた段階的な利用とYahoo! JAPANの取り組み

ヤフー株式会社 政策企画本部 佐川 英美

Agenda

1. こどもとインターネットに関するYahoo! JAPANの取り組み
2. 親子で取り組むネットセーフティ

こどもとインターネットに関するYahoo! JAPANの取り組み

子ども向けポータルサイト「Yahoo!きっず」

子どもの！

UPDATE

生き抜く力



1997年11月4日
社会貢献事業の一環としてサービス開始

私たちYahoo!きっずは、
未来を築いていく世代（主に小学生）に対し、**自分の人生を豊かにするための**新しい知恵や術を身につけられる場を提供することにより、**子どもたちが自ら学び、成長し、主体的に幸せになる力を**会得し、将来のあらゆる可能性を広げることを実現します。

子ども向けポータルサイト「Yahoo!きっず」

子ども向けポータルサイトの役割

- 子どもたちの発達段階に配慮された場で、体験を通しインターネットについて学べるよう良質なコンテンツを提供する
- 子どもたちが未来を切り開く「道具」として、インターネットを活用できる力を身につける支援を行う



画像：アフロ

子どもを護る保護者を支援するために

子どもたちのインターネット利用について考える研究会（子どもネット研）

child-safenet.jp

子どもたちのインターネット利用について考える研究会

設立趣旨 | 組織体制 | 構成員

HOME 教材 活動内容 トピックス 自治体活用事例 よくある質問

「子どもたちのインターネット利用について考える研究会(子どもネット研)」は、学識経験者・学校関係者・保護者などで構成される専門家会議です。本サイトでは、主に地域の現場で活躍する学校関係者・地方自治体担当者・NPOの皆様にご活用いただくべく、その研究成果や活動内容をご報告・ご提供してまいります。

お知らせ

- 2016.08.10 スマホデビュー低年齢化に合わせ、保護者支援のための情報の整理に着手 **NEW**
- 2016.07.05 NPOと地元企業による協働の事例(静岡県焼津市)を公開 **NEW**
- 2016.05.09 自治体(広島市)での採用事例を公開
- 2016.04.05 秋田県「大人が変える！インターネット・セーフティの推進」での「地域サポート養成講座」への取り組みから見ええた保護者教育啓発成功のポイント
- 2015.10.20 子どもたちのインターネット利用について考える研究会、内閣府が主催する「平成27年度 青少年のインターネット利用環境づくり(フォーラム)」に参加

すべて見る >>

保護者のためのインターネットセーフティガイド

お子さんがインターネットを安全に利用するために保護者の方には知っておいていただきたいことをわかりやすくまとめたものです。
[詳しくはこちら](#)

保護者のためのインターネットセーフティガイド
 ~スマートフォン・タブレットの安全利用と家庭内でのポイント~

教材を見る

自治体での教材活用事例を紹介します
自治体採用事例
 秋田県、札幌市、横浜市

総務省サイトリンク集
 ・保護者のためのお役立ち情報

よくある質問

- 子どもネット研では講習会への講師派遣を行っていますか？
- 教材がうまくダウンロードできません

一覧

子どもネットに関するQ&A
 ~Yahoo!知恵袋タイプ企画~

- いつかガイドを持たせましたか？
 様々です。予定がたつと...

子どもたちのインターネット利用について考える研究会（座長：お茶の水女子大学 教授 坂元 章）は、子どもたちのインターネット利用をより豊かで安全なものにすることを目的として2008年に設立された研究組織です。さまざまな課題について調査研究を行い、保護者・行政・関連事業者に向け整理された情報を提供しています。

運営体制：
 事務局：ヤフー株式会社、ネットスター株式会社
 アルプス システム インテグレーション株式会社
 運営支援：ポールトゥウィンホールディングス株式会社

子どもネット研の主な成果

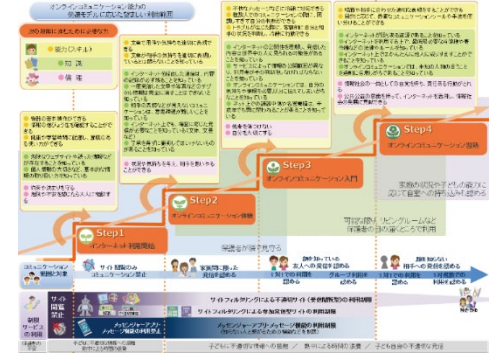
オンラインコミュニケーション利用の段階的利用モデル – 利用は発達段階に応じて段階的に

「段階的利用モデル」では、子どもたちがインターネット利用及びオンラインコミュニケーションを始める際の望ましい手順や身につけるべき能力を取りまとめています。

「段階的利用モデル」の大きな特徴の一つは、「子どもの発達」が段階になっている点です。

同じ年齢の子どもでも、「能力（スキル）」「知識」「倫理」は人それぞれです。そのため、本モデルでは保護者が「自分の子どもがどの段階なのか」を各段階の「必要な力」で挙げられている項目について、それができかどうかを判定することで、子どもの発達段階にあわせた理想的な利用の仕方や次の段階に進むための必要な指導が分かるようになっています。

https://www.child-safenet.jp/material/guide06_model/



乳幼児とスマホ 保護者のためのセルフチェック – スマートフォンで手軽に自己診断できるウェブサイト

2017年3月に公開した「未就学児の情報機器利用 保護者向けセルフチェックリスト（3歳から6歳）」を元に、スマホ育児の適切さをスマートフォンで手軽に自己診断できるウェブサイトを公開しました。

「機器利用の時間や場面」「情報の内容と保護者の関わり方」「機器の与え方」「保護者自身の知識や使い方」の4領域に関する計16問の質問に答えることで、現時点での各家庭の取り組みの適切さがかんたんに自己診断できます。研修会などでもご活用ください。



<https://www.child-safenet.jp/selfcheck/>

インターネット利用に必要な力は、保護者が子どもに寄り添いながら育てていくことが不可欠です。
子どもネット研は、子どもを護り育てる保護者を引き続き支援して参ります。

SIAネットセーフティ教育プログラム

saferinternet.or.jp

安心・安全なネット社会の実現に向けた、利用者および指導者の育成



一般社団法人セーフインターネット協会
Safer Internet Association

ネットセーフティ教育プログラムは、インターネットの安全な活用のための教育啓発講座に、講師として登壇できるネットセーフティ・インストラクター、学習機会の企画・開催や周囲の相談に応じられるネットセーフティ・アドバイザーを認定するプログラムです。

利用機器の多様化や利用開始の低年齢化などが進む中、利用者のリテラシー向上を目的とした教育は、全国各地で活発に行われています。しかし、こうした教育事業を遠隔地からの講師招致だけで乗りきることは、長期的には難しく、教育・啓発の担い手となる人材を育成し、地域の状況に合わせた教育・啓発活動を推進できる環境を自ら整備していくことが大切です。

そこでSIAでは、専門家会議「子どもたちのインターネットについて考える研究会」との連携により、人材の育成や知識・スキルの認定、活動支援などを行うネットセーフティプログラムを提供し、地方自治体の課題状況に応じたカリキュラムやコースを提案し、課題解決を支援します。

—Yahoo! JAPANでは、SIAネットセーフティ教育プログラムの運営支援を行っています—



▶ ネットセーフティ教育プログラム : <https://www.saferinternet.or.jp>

親子で取り組むネットセーフティ

こどもたちの利用環境と保護者の関わり

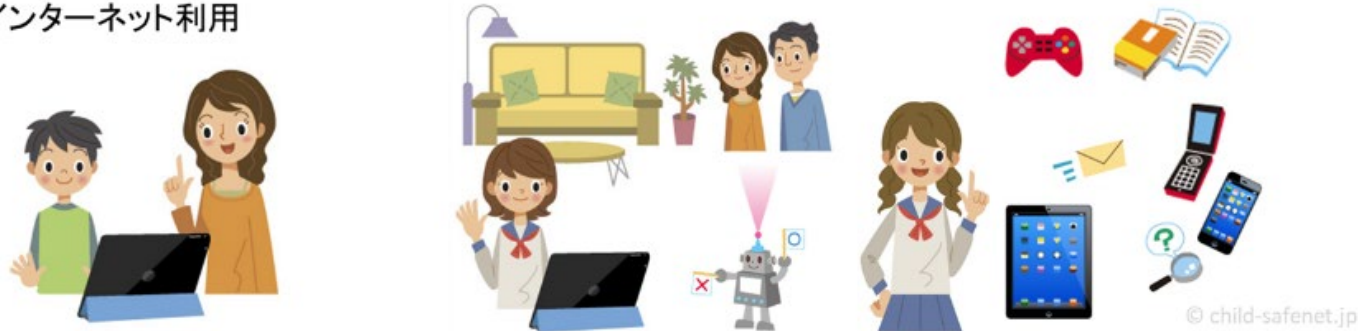
使いながら、発達段階に応じて段階的に

出典元：子どもたちのインターネット利用について考える研究会
<https://www.child-safenet.jp/>

自転車練習

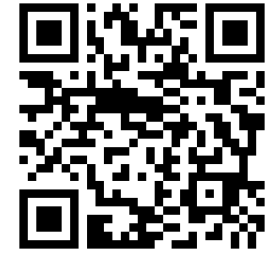
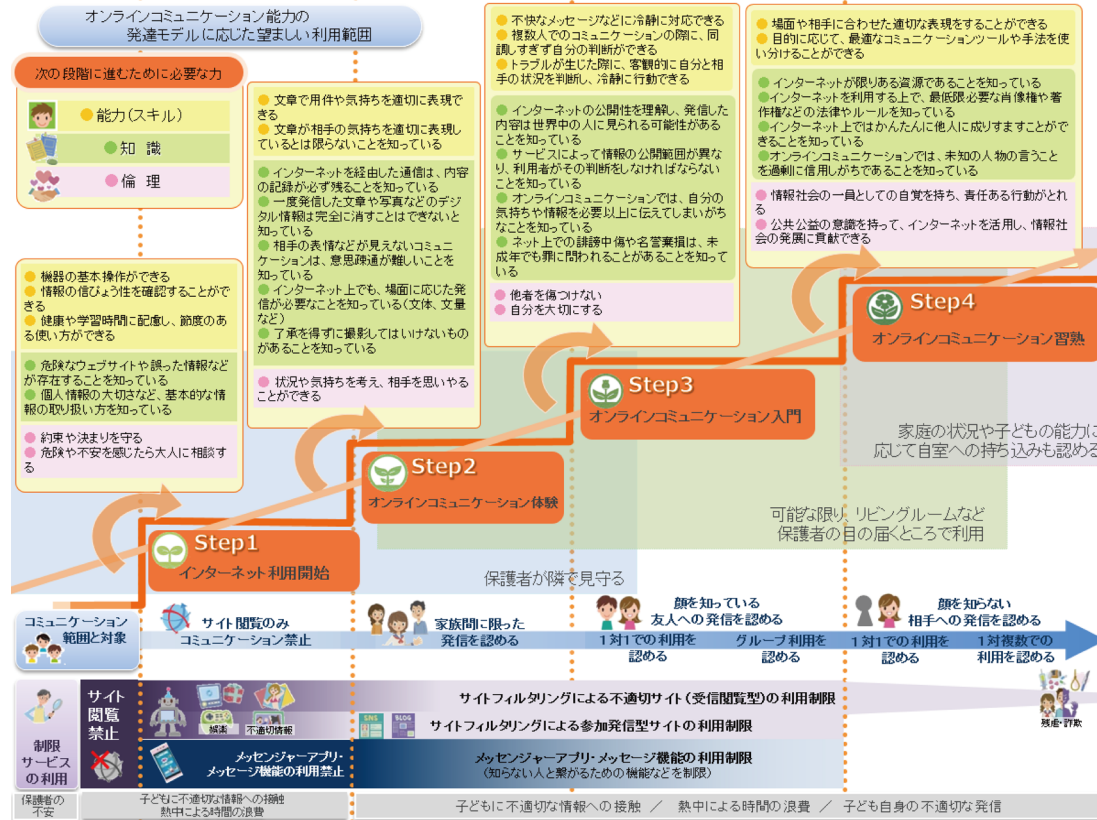


インターネット利用



使いこなせる大人になるために必要な力を育むには

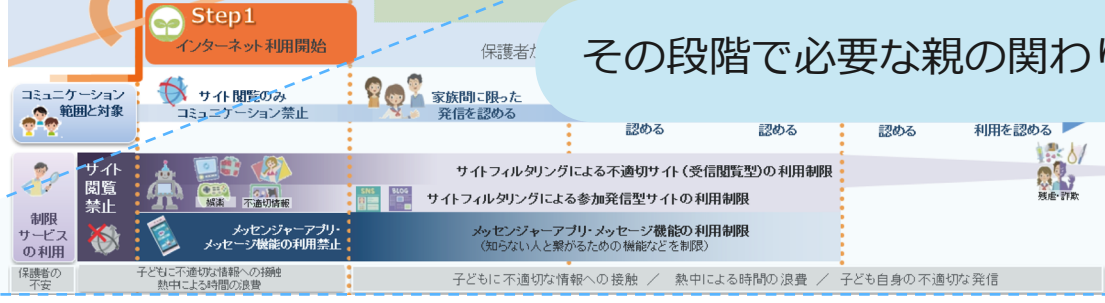
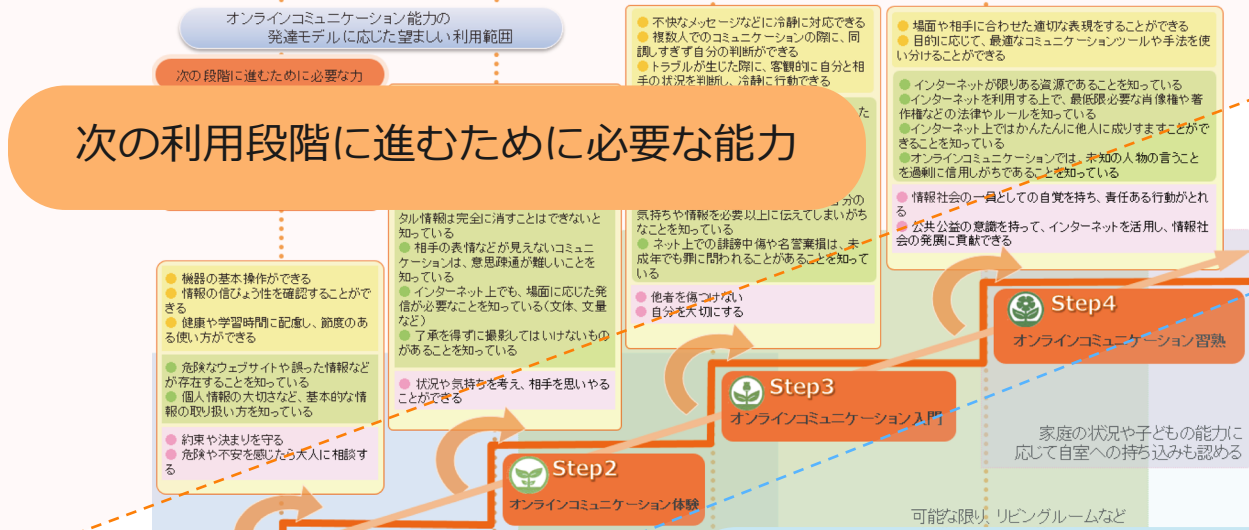
出典元：子どもたちのインターネット利用について考える研究会
<https://www.child-safenet.jp/>



オンラインコミュニケーション能力に関する段階的利用モデル

使いこなせる大人になるために必要な力を育むには

出典元：子どもたちのインターネット利用について考える研究会
<https://www.child-safenet.jp/>



使いこなせる大人になるために必要な力を育むには

出典元：子どもたちのインターネット利用について考える研究会
<https://www.child-safenet.jp/>

使いこなすために必要な力と保護者に期待される関わり

能力（スキル）



家庭のルール

知識



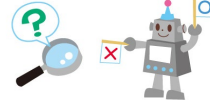
親子コミュニケーション

倫理



道具として適切に
インターネットを
利用できる力

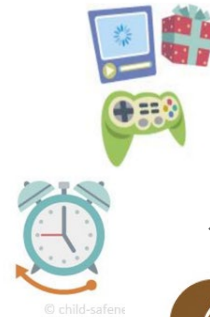
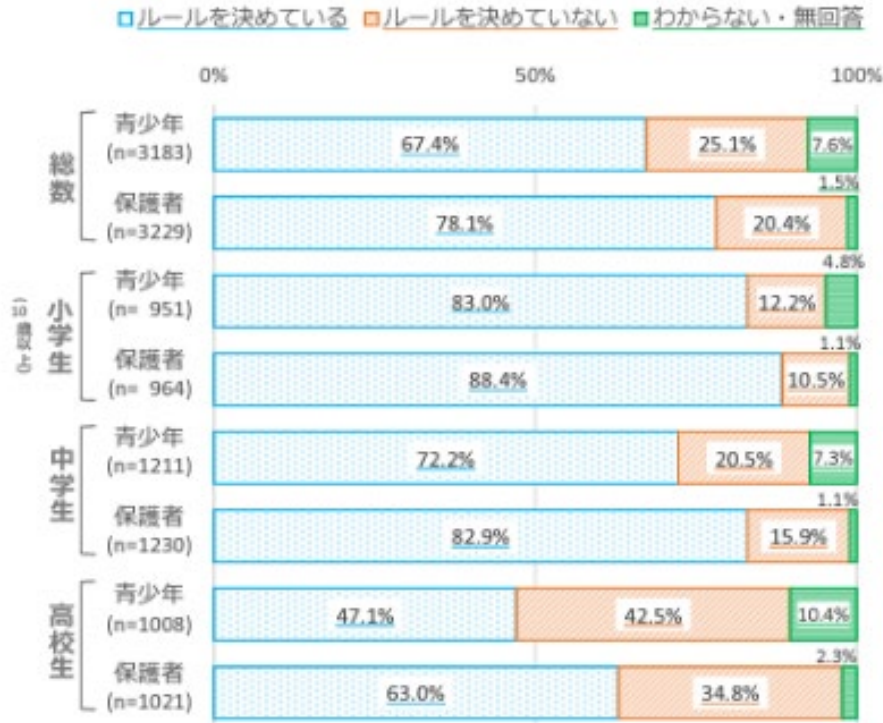
自律した判断、
利用ができる力



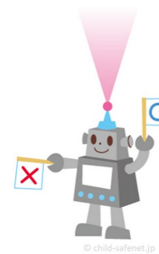
Step Up!!

親子のコミュニケーションと家庭のルール

青少年とその保護者のルールの有無に関する認識の比較



青少年と保護者の間で
ルールの有無について認識に違い



出典元：令和4年度青少年のインターネット利用環境実態調査調査結果
https://www8.cao.go.jp/youth/youth-harm/chousa/net-jittai_list.html

ルールを考えるときのポイント

ルール = 心配事やリスクから子どもを守るためのもの

意味を伝えましょう

➤ルールは、不安や心配事から身を守るためにあります。

どんなことを心配しているのか、どんな危険から守りたいと思っているのか、きちんとルールを作る際に相互に伝えることが大切です。

定期的に見直していきましょう

➤ルールは、子どもの発達段階に応じて見直すことが必要です。

スキルの習熟に応じて、話し合いながら見直しましょう。



自律した利用ができる力を育むために

インターネットは「道具」 道具をどう使うかは使う人次第

インターネットの自律した活用する力が求められる時代

- 必要な大切な情報アクセスする力
- 必要な情報を取捨選択する力
(真偽や信頼性、有用性)

自律した利用ができる力を育むために

子どもたちが「道具」として、インターネットを使いこなせる力を育むために
周囲の大人や社会が、子ども本人の行動変容を目指した取り組みを推進する必要がある



YAHOO!
JAPAN

UPDATE

子どもの未来